

**第2次弥富市総合計画後期基本計画(案)に関する
パブリックコメントの実施結果について**

案件名	第2次弥富市総合計画後期基本計画(案)		
募集期間	令和5年11月1日(水) ~ 令和5年12月1日(金)		
担当課	総務部 企画政策課		
募集結果の概要	第2次弥富市総合計画後期基本計画(案)に対する意見を募集した結果、2人の方から18件の意見が提出されました。		
意見提出数	持参	0人	0件
	郵送	0人	0件
	ファクシミリ	0人	0件
	電子メール	2人	18件
	合計	2人	18件

提出された意見等の概要と市の考え方

No.	項目	意見・提言の概要	市の考え方
1	全体	<p>前期基本計画での進捗、未達成について説明し、それに対して後期でどう対処するかという記述をしてほしかった。5年後の第3次基本計画で対応してほしい。</p> <p>策定委員会の議事録を読んでいると市民意識調査から要素に分析し対応策を検討している。せっきくの検討要素を報告書に記述して市民に計画の変更要素を理解するように工夫してほしい。5年後の第3次基本計画で対応してほしい。</p> <p>前期5年の結果が市民へ示されていません。前期の実績とその評価および5年間の社会の変化を加味して後期計画が策定されていると思いますが、その辺りの議論や検討の結果が分かりません。</p>	<p>審議状況は計画掲載になじまないため、冊子として公表する資料には、改正の経緯がわかるよう各種情報を盛り込む予定です。また、各種情報を踏まえた審議会での審議状況については議事録で公開しております。</p>
2	(同上)	<p>基本計画は10年スパンのもので、今回はその途中での見直しなわけです。しかし、世の中の変動は早く5年の見直しでは遅いと思います。大きな方向性だけなら兎も角、今回示された基本計画には詳細な計画も記載されています。</p>	<p>総合計画は本市の最上位計画として位置付け、10年間を見据えた基本構想に基づき、5年を期間とする基本計画で構成されています。更に、毎年度、次年度以降の事業の実施計画を作成し、実施後は施策評価及び事務事業評価を行い、今後の</p>

		是非、スピード感ある行政を望みます。 とくにDXと言うワードには、PDCA ループではなくOODAループが適 切です。世の中の変化に追従する 計画立案のタイムリーな計画変更 を望みます。	取り組みへの見直しや予算連動に 活用しています。このPDCAサイク ルにより、年度途中の新たな取組等 であっても随時実施計画へ反映させ ることとしております。後期基本計画 がスタートしましても、掲げた目標が 達成できるよう引き続き取り組んで まいります。
3	(同上)	色々な課題認識されている事が分 かります。計画すべき個別の事業 も多岐にわたり、それぞれに予算 も必要だと思いますが優先順位が 示されていません。 具現化する事業に優先順位をつ けて、優先度の高いものから事業 化して事業を推進して下さい。	総合計画は、本市の全ての施策を 網羅し、行政運営の総合的な指針と して位置付けております。実際の予 算上の各事業の優先順位は、毎年 の予算編成時に重要性・緊急性等 の観点から検討し、総合計画を具体 化した実施計画として毎年公表して おります。
4	(同上)	重点施策は表示してあるが、新規 施策や拡充施策を表示したほう が、市民にはわかりやすい。	計画には対象事業を掲載しておりま すが、実施内容や拡充状況につい ては毎年策定する実施計画におい て詳細をお示しする構成となってい ます。 今後も、市民に分かりやすい計画づ くりを努めてまいります。
5	施策目標と成 果指標	施策目標ごとに成果指標の記載 があります。計画に対するKPIや KGIを設定する事は大切です。しか し、本基本計画に設定されている 目標は、「目指すべきまちの姿」が どの程度達成できたのかを示すも のではなく、各個別事業の数値目 標の一部としか思えません。このレ ベルの数値目標なら、「●主要施 策と概要」の項目ごとの具体的な アクションプランに沿って設定し 方が良いでしょう。また、数値だけ でなく時期の目標も必要だと思い ます。 例えば、5ページの「(1)総合的な 防災・減災体制の確立」には、次 の4項目があります。 ・南海トラフ地震の被害想定等を ふまえ、あらゆる災害に強い安全・ 安心なまちづくりを推進します。 ・過去の災害を教訓に、今後起こ りうる災害に備え、地域防災計画 を必要に応じ見直します。 ・災害発生時に迅速的確な避難 指示や津波警報などの緊急情報 を伝達し、適切な避難行動を促し	総合計画の対象分野は多岐にわた るため、当初は現行計画同様、施策 目標単位で評価指標を定めるのみ とし、全体評価を設けておりませ んでした。その後の審議会での議論 において、総合戦略と一体化し、そ の中で総合評価的な指標を取り入 れることといたしました。 なお、「目指すべきまちの姿」は、 施策目標単位で将来のまちのある べき姿を、総合的な位置付けとし て掲げておりますので、その達成 度を単一の数値目標で表すことは 困難です。また、成果指標につ きましては、全ての施策、事業 において設定することは困難であ りますが、各取組を展開する中 で、必要な目標等を定め、最 大の効果が挙げられるよう努力 してまいります。

		<p>ます。</p> <p>これに対して成果指標は、「安全・防災メールの登録者数を5,285から6,500人に増やす」だけです。この指標もあっても良いですが、これだけでは足りません。</p> <p>もう一例、114ページの「重点戦略5 DXで暮らしを豊かにする」のKPIは、「証明書コンビニ交付件数を7,500件にする」とあります。この件数は暮らしの豊かさとの様な関係があるのでしょうか。そもそも早くコンビニで受け取れるようにする時期を示すべきではないでしょうか。</p>	
6	<p>【7ページ】 津波・高潮緊急時避難場所の指定箇所数</p>	<p>目標値60か所の根拠は。少ないのでは。地域的な偏りをどう解消するのか。</p>	<p>「目標値」に関しては、愛知県が指定した「津波災害警戒区域」に基づき、既存の公共施設について「基準水位」と「施設の高さ」を比較し、昨年度から今年度に向け見直しを行いました。この見直しにより、現在72か所指定していますので、計画当初の目標値60を75か所に修正いたします。</p> <p>「数不足」に関しては、市内全体で緊急時避難場所の人口に対する収容率は、200%以上ございます。</p> <p>「偏りの解消」に関しては、地区ごとの収容率はあくまでも目安に過ぎません。時間帯によって市内に分布する、人の数や滞在場所は常に変動します。</p> <p>また施設ごとで立地場所や収容可能人数等が違うことから、災害発生の時間帯によっては、避難者が一箇所に集中し混雑する場合や、逆に避難者数が極端に少ない施設も考えられます。このように緊急時避難場所の「適正な数」というのは非常に難しいと考えております。このため一時的に命を守るための、緊急時避難場所の「選択肢」を、一つでも増加するように、今後も民間の建物を利用した災害協定を、進めてまいります。</p>
7	<p>【7ページ】 市民等との協働による取組</p>	<p>「自主防災会との連携(中略)住民意識を高めます」とありますが、住民意識だけでなく自治会としての防災活動の具体的なレベルアップと、防災会の横連携を目指すべきでは。</p>	<p>自主防災会との連携や横の連携により地域防災力の向上を図ることは非常に重要であると考えていますので、各施策の中で実現させてまいります。</p> <p>なお、「主要施策と概要」(4)の1項目</p>

			目へ「、自主防災組織間の連携促進等」を追記いたします。
8	【11ページ】 (4)公共交通の 利便性向上	デマンド交通の必要性を具体的に 書くべきではないですか。	デマンド交通の必要性につきましては、「現状・課題」欄でその旨を記載するとともに、「主要施策と概要」欄では、「公共交通の効率化」や高齢者等の「気軽に外出できる環境の形成」として整理しております。
9	【72ページ】 (1)コンパクトな まちづくりの推 進	コンパクトな都市構造を推進とあ るが、弥富市の現状や今後のまち づくりを考えると、コンパクトシティ はあわないと考える。	弥富市では人口減少や少子高齢化 に対応するため、持続可能なまちづ くりを目指し、立地適正化計画を策定し 推進しています。コンパクトシティおよ び交通ネットワークの構築により、自 動車に依存せずとも、徒歩または公 共交通を利用することで、いつまでも 安心して暮らせるまちづくりを進めて まいります。
10	【73ページ】 (2)市街地の計 画的整備	弥富市の現状や今後のまちづくり を考えると、身の丈に合わず費用 対効果が見込めないため、実施す べきでないと考える。	これらの施策は、目指すべきまちの 姿を実現するために必要な施策とな ります。なお、着手した事業について は、事業の有益性を判断する必要 があるため、費用対効果(B/C)を 算出し、事業の有益性があることを 確認しております。
11	【73ページ】 市民等との協 働による取組	「都市計画に関する計画」の周 知、啓発により、市街地整備に関 する住民の理解に努めます。とあ るが、上から目線の周知、啓発で なく市民との対話できてない。住 民の理解でなく参加と協働にふみ こまなければ意味がないと考える。	都市計画の案を作る際には、都市 計画法に準拠し、住民説明会の開 催や案の公告・縦覧を行い、住民の 皆さんの意見をお伺いしております。 その後、案は提出された意見書を添 えて、都市計画審議会で審議を経た 後、必要な手続きを経て決定されて おります。
12	【76ページ】 (1)良好な住 宅・宅地の供給 促進	集約的都市構造は市民に理解で きない。弥富市の現状や今後のま ちづくりを考えると、身の丈に合わ ず費用対効果が見込めないため、 実施すべきでないと考える。	弥富市では人口減少や少子高齢化 に対応するため、持続可能なまちづ くりを目指し、立地適正化計画を策 定し推進しています。コンパクトシ ティおよび交通ネットワークの構築 により、自動車に依存せずとも、徒 歩または公共交通を利用することで、 いつまでも安心して暮らせるまちづ くりを進めてまいります。
13	弥富市デジタル 田園都市構想 総合戦略	DXに関しては重点施策5にしか触 れていません。DXは、殆どの 施策で活用できると思います。「行 政手続の電子申請件数300件」の 目標はさみしい限りです。 あらゆる行政サービスでの活用を 望みます。	DXの推進につきましては、総合戦 略の重点戦略5に位置付け、市民 サービスの利便性向上を図りつつ、 行政運営の効率化を目指すことと しております。また、総合戦略の横断 的目標としまして「デジタル社会と暮 らしやすさの調和」を掲げることで、

			重点戦略1から4まで多岐に渡り、デジタルの力を活用しずっと住み続けたいと思えるまちづくりを目指していくこととしております。デジタルの恩恵を受けづらい高齢者等の支援も行いながら、市民本位となるよう取り組んでまいります。
14	【108ページ】 重点戦略2 弥富市への人の流れをつくる	数値目標の「人口社会増減数」の意味が分かりません。補足説明が欲しい。	「人口社会増減数」につきましては、転入者数から転出者数を差し引いたものとなりますが、ご意見のとおりその旨の説明を補記させていただきます。
15	(同上)	市の人口は減少傾向の予想であると聞きます。人口減少や流入が少ない原因は何でしょうか。	本市の人口は徐々に減少傾向となっており、死亡数が出生数を上回る自然減及び子育て世帯の転出が大きな要因と考えております。従いまして、総合計画、とりわけ総合戦略におきまして、新たな定住者を増やす取組を推進しつつ、現在住んでいる市民の暮らしやすさを高めていきたいと考えております。
16	(同上)	施策の方向性1で「シティプロモーションの強化」とありますが、キラーコンテンツが無いと思います。「移住者や子育て世帯等、ターゲットを明確にした施策パッケージ」がキラーコンテンツとなる内容にしたら良いと思います。	本市のシティプロモーションにつきましては、市公式ホームページをはじめSNS等を活用し、これまでも取り組んでまいりました。本市といたしましては、引き続き市民の皆様へ必要な情報を分かりやすくかつ速やかに届け、また、市外にも本市の魅力等を十分に発信できるよう、ターゲットを明確にした施策パッケージ情報を積極的に発信してまいります。
17	(同上)	施策の方向性2で「駅周辺における賑わい創出」とあります。その策として「駅周辺における商店街等への集客・交流を生み出すイベント」とあります。このイベントを具体的に示して下さい。	イベントにつきましては、今後、各担当課が関係機関等と連携・調整のうえ開催を検討してまいりますので、現行の表記となっておりますが、現状では、駅前や商店街等を活用した駅前マルシェ、1日マルシェ、軽トラ市等を想定しております。これらのイベント開催が本市の地域活性に寄与できるよう、取り組んでまいります。

意見募集時の公表資料

第2次弥富市総合計画後期基本計画(案)

問合せ先

総務部企画政策課 政策推進グループ 電話 0567-65-1111 内線 452